

対象年度	令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					事務事業名	結城蔵美館運営事業			予算事業名	結城蔵美館運営経費		
予 算 科 目	会計	01						款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			07	01	05	1501	経常経費								
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう							事業の区分	主要事業						
	地域資源を活用したにぎわいと交流の促進							担当課係等	商工観光課						
地域資源を活用した観光の振興							観光係								
事業期間	継続 ( 年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
本市の歴史・芸術文化の情報発信拠点として観光振興の一翼を担う。							平成24年度に見世蔵が市に寄贈され、芸術作品や歴史資料の展示施設として改修し、平成26年度に「結城蔵美館」として開館した。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
本蔵における本市ゆかりの芸術家の作品展、袖蔵における本市の歴史文化資料の公開という形式が完成している。2019年度より、本市及び近隣市町にゆかりのある作家へと範囲を拡大し、幅広い分野で芸術作品を展示していく。							観光客及び市民								
							【事業をとりまく環境の変化】								
							市全体としての観光振興を図るうえで民間施設との差別化が重要になっている。								
【令和 5年度 事業内容】					【令和 6年度 事業内容】					【令和 7年度 事業内容】					
絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 暖簾購入、看板設置、椅子購入 御手杵の修繕					絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 展示版再塗装、防犯カメラ設置					絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 入口石張り改修					

■事業費

		R03年度	R04年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	1,301	2,839			
歳 入 計 ( 千 円 )		1,301	2,839			
歳 出 内 訳	節 ( 番 号 + 名 称 )	金額 ( 千円 )	金額 ( 千円 )			
	10 需用費	653	2,005			
	11 役員費	137	140			
	12 委託料	259	383			
	13 使用料及び賃借料	252	252			
	17 備品購入費	0	59			
歳 出 計 ( 千 円 ) ( A )		1,301	2,839			
伸 び 率 ( % )			118.21			
備 考						

# 令和 3年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	開館日数	日	目標	307.00	307.00	307.00
	基本開館日数を307日（365日 - （週休52日 + 年末年始休6日））と定義		実績	316.00	0.00	0.00
	展示作家数	組	目標	12.00	12.00	12.00
	本蔵のみ。市の企画展も含む		実績	11.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数		目標	25,000.00	25,000.00	25,000.00
			実績	9,548.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	御手杵の槍の展示や本蔵の企画展の実施状況から、観光資源としての必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	御手杵の槍の所有や、企画展を展開するうえで、行政が実施することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	展示作品の選出、展示方法は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	施設の維持管理に費用が掛かりだしている。人件費は抑えられている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	観光客が増加することによる経済効果を鑑みると、偏っているとは一概に言えない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	なお一層の創意工夫により、成果向上の余地がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	コロナ禍明けで今後一層の事業の進捗が図られるであろう。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市の観光施設として定着している。蔵造りの建物の維持管理の困難さが今後問題となるであろう。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
貴重な観光施設であるので、商業観光振興計画に沿って「稼げる観光」を目指し、展示作家の販売や、物販品の拡大を目指す。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容	
当館は、常設展示の御手杵の槍と各種作家作品の展示により多くの来館者があるが、施設は展示施設しかなく周辺にも飲食や休息ができる施設がないことから、来館者の滞在時間が短く、当館による経済効果が薄いことが課題と考える。旧市役所跡地の利活用と併せて、課題の解決を図ることが望まれる。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	
上記評価のとおり。	